

自動車防災情報

交通安全テスト

次の問は、運転者として知っておくべきこと、守らなければならないこと、安全運転の方法などについて述べています。正しいものには○を、誤りには×をつけて下さい。(1問10点・計100点)

- 問1 衝突被害軽減ブレーキを搭載する車であっても、機能には限界があることや注意点を正しく理解し、技術を過信せずに運転することが必要だ。
- 問2 高速で走行する際は、緩やかなハンドル操作を心がける。
- 問3 図1の標識のあるところで、給油のため右折横断してガソリンスタンドに入った。
- 問4 夜間、見通しの悪いカーブの手前では、前照灯を上向きに切り替えるか点滅させて、他の車や歩行者に自車の接近を知らせるとよい。
- 問5 環状交差点に入ろうとするときは、徐行しなければならない。
- 問6 霧で視界が悪いときは、前方がよく見えるようにするように前照灯を上向きにして走行するとよい。
- 問7 図2の標識は、「駐車禁止」を示している。
- 問8 昼間でもトンネルの中や濃い霧の中などの暗い場所を通行するときは、前照灯を点灯しなければならない。
- 問9 踏切で警報機が鳴っていたが、遮断機が降りていなかったので、急いで通過した。
- 問10 自動車の保管場所として道路を使用してはならない。

図1



図2

青地に赤丸枠と赤の斜線 →



《答え》

- 問1 ○ そのとおり。衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全技術は、運転者が責任をもって安全運転を行うことを前提としている。
- 問2 ○ そのとおり。
- 問3 × 「車両横断禁止」の標識であり右側に横断することはできません。
- 問4 ○ そのとおり。
- 問5 ○ そのとおり。
- 問6 × 前照灯を上向きにすると、光が霧で乱反射して視認性が悪くなります。
- 問7 ○ そのとおり。
- 問8 ○ そのとおり。問題の場所に駐停車する場合も前照灯を点灯してください。
- 問9 × 警報機が鳴っているときは、踏切に入ってはなりません。
- 問10 ○ そのとおり。車庫などの保管場所を確保する必要があります。